

2024. 8/8

西日本初！新マンモグラフィ検診車稼働

女性へのやさしさを込めて設計されたマンモグラフィ



富士フィルムメディカル株式会社
デジタル式乳房用X線診断装置

「AMULET ELITE」アミュレットエリート
巡回集団健診に対応した最新の装置を
新しい検診車に設置しました。

💡 **高精細画像が得られ、検診車に適した設計**

この装置は、低線量で高精細な画像が得られること、画素サイズが50μmと小さいため、微細な石灰化も鮮明に撮影でき、乳がんの早期発見に貢献することから、新型検診車に搭載されました。また、検診車に適したコンパクトな設計で、振動や衝撃にも強く、移動先でも安定した画質を維持します。

🌸 **乳がんは早期発見が重要です。**

40歳以上の人は2年に1度の定期検診が推奨されています。家族や大切な人のためにも、ぜひ検診を受けてください。早期発見、早期治療で乳がんを闘いましょう。



画像診断統括責任者
放射線科専門医
最上 博

👤 **受診者への思いやり設計**

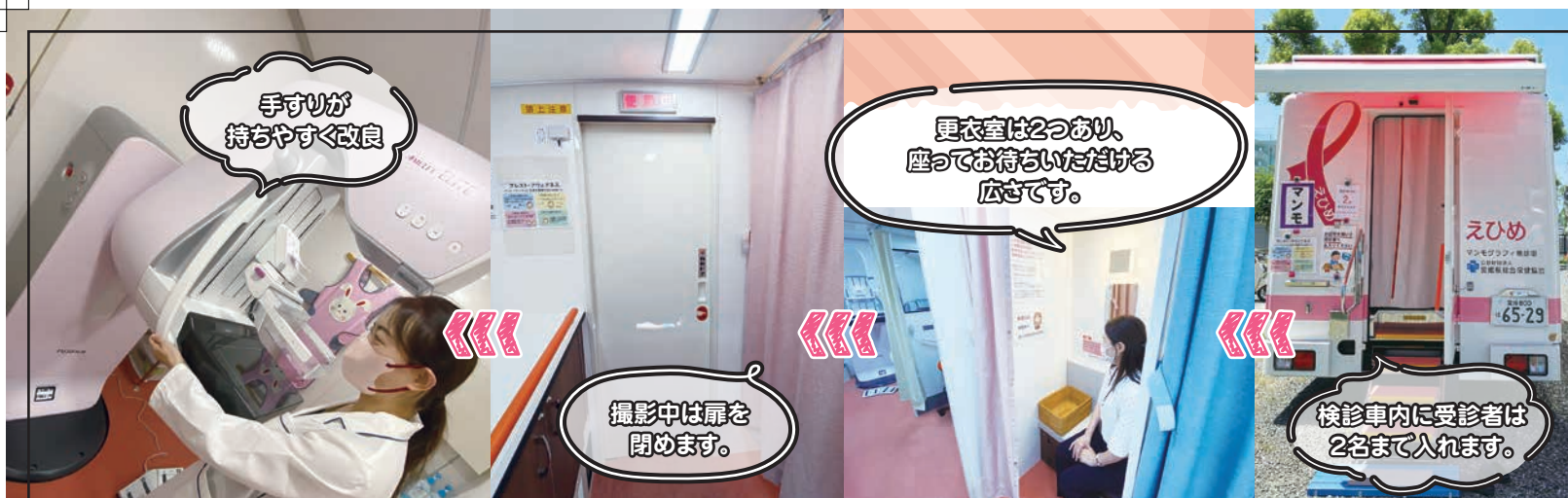
従来より、薄型・コンパクト化した撮影台により圧迫感がなくなりました。また、手すりが長めに持ちやすい形状になっていること、お腹が当たる部分が丸みを帯びてカーブしており身体に沿うため、より快適なポジショニングができるようになっていることで、受診者の負担を軽減します。

🐾 **操作者への思いやり設計**

撮影から画像表示までの時間が短くなったため、撮影後すぐにスムーズな確認ができるようになりました。

👩 **当協会こだわりのオーダーメイド**

今回3台の検診車が新しくなりました。検診車ごとに更衣室カーテン等の内装を変えており、落ち着いた色合いのものや、明るくポップな雰囲気のものもあり、少しでも受診者が前向きに検診を受けられるような内装になっていると思います。カーテンの色がすべて違うのには、撮影の前後で別の更衣室と間違えないための工夫にもなっています。



手すりが持ちやすく改良

更衣室は2つあり、座ってお待ちいただける広さです。

撮影中は扉を閉めます。

検診車内に受診者は2名まで入れます。

検査のながれ



更衣室

上半身は裸になり、ご自身のお洋服かお持ちいただいたタオル等をかけて、お胸を隠して呼ばれるまで座ってお待ちください。
(ワンピースは避けて、上下分かれる服装で受診ください)
※貴重品は撮影室に持ってお入りください。

- 1.装置の正面に立つ
- 2.撮影台に乳房をのせる
適切な撮影をするためにポジショニングを行います。ご協力をお願いします。
- 3.乳房を平らにのぼす
- 4.圧迫して撮影する

・上下からはさむ撮影と斜め横からはさむ撮影があります。
・左右の乳房を片方ずつ撮影するので、全部で4回撮影します。

乳房付近に、人工物のある方は撮影できません。
例えば)ペースメーカー・水頭症シャント術
リザーバーチューブ・豊胸術など

プレスト・アウェアネス
プレスト・アウェアネスは、乳房を意識する生活習慣です。

①乳房の状態を知る 日頃から、『自分の乳房の状態』を知っておきましょう。 見て 触って	②乳房の変化に気づく 『いつもと変わりがないかな?』 しりぞ 確認
③医師に相談する 変化に気づいたら、すぐ受診。次の検診を持たない! 自己判断しない!	④乳がん検診を受ける 40歳以上の女性は定期的に検診を受けましょう!

🔍 検診車に乗った際は
見つけてみてください。

画像診断部 放射線技師 天野 夢美



壁紙もおしゃれな花柄に

当協会では認定の資格をもっている女性技師が撮影します。痛そうでこわいイメージがあるとは思いますが、自分の身体のため乳がん検診を受けてみてください。
また、乳がんには自己触診も有効です。まずは日頃から自分の乳房の状態を知り、変化に気づきを持つようにしましょう。



車内全体の様子



👉 ここが丸みの部分